

令和2年5月11日

えべつ幸誠会

利用者・保護者の皆様

統括施設長 那 須 崇

感染症対策について

平素より、当法人の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルスの流行に伴い、健康面や生活面に影響を受けた方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、全世界的に大流行している新型コロナウイルスは、更に拡大の一途を辿っており、非常事態宣言が5月7日から5月末日まで延長され、収束の気配が現れません。「密集・密閉・密接」の起こりえるサービス事業については、行政より休業要請がなされている中、当法人が展開している福祉事業については、同様に「3密」の起こりえるリスクの高い事業とされていますが、その担っている社会的役割から、休業要請の例外とされており、感染予防について細心の配慮を途切れることなく行いながら、事業を継続しております。

しかしながら、当法人と同じような境遇の医療や福祉の現場で、次々と集団感染が発生しており、そのような現場では、持病を抱えた患者や利用者が筆舌に尽くし難い苦しい思いをし、現場の医療従事者や施設職員は、濃厚接触者として、病院や施設の外に出ることなく、現場に寝泊まりして対応に当たる事となり、利用者さんや職員の健康や生活に大きなダメージを与えているという状況が日々伝わってきております。これだけは何としても避けなければなりません。

当法人としては、これらの状況を踏まえて、引き続き厚生労働省のガイドラインに基づく感染症予防の厳戒態勢を6月末まで継続する事といたします。明友荘・グループホームの入所系施設、事業所については6月末まで外泊や面会を禁止とさせていただきます。エール・なでしこ・ななかまど・明友荘通所部の通所系事業所については事業を継続しますが、これまで同様、保護者・ご家族の多大なるご協力が必要となります。利用者さんの健康状態や、同居するご家族の健康状態に細心のご留意を頂き、ご本人あるいは身近の方に体調の異変を察した際には、速やかに事業所にご一報いただき、直ちに通所を控え、保健所や医療機関の指示を仰いでいただきますようお願いを申し上げます。

また、なでしこ事業所については、他に複数の事業所が同じ建物に入居しており、また、多方面から人が出入りしているという特殊な状況がある事から、感染リスクが高い状況にあるため、同居している他事業所と連動しながら、市の指導のもと、利用者及び職員の時差出勤、時短営業を行う事といたします。

法人全体としては、年内の諸行事「一泊旅行」「七夕」「フェスティバル」等は中止とし、「クリスマス会」については、その時の状況をみて開催の可否を判断する事といたします。

以上、法人としての感染症対策について、謹んでご理解とご協力の程お願いを申し上げます。

結びになりますが、えべつ明友荘の新館増設工事が完了し、全ての利用者さんが、個室での生活に移行いたしました。あわせて今までの建物(本館と呼んでいます)のトイレ・洗面所のリフォームも完了し、利用者の皆様が、以前よりも広い共用スペースとプライバシーが守られた個々のスペースで、快適にお過ごし頂いています事をあわせてご報告申し上げます。